

あいの広場

10月届出分

●お誕生おめでとう (敬称略)

(出生児)	(保護者)	(公民館)
久保 奈々子	賢 治	紫尾 中
H15.10. 1生まれ		

●おくやみ申し上げます (敬称略)

(死亡者)	(届出人)	(公民館)
栗野 ソナ 95	久 雄	大願寺
富満 清志 81	勝 雄	紫尾上
小緑 ソエ 94	栗野秀吉	鶴宮園
西之園 スギエ 74	照 男	高 嶺
本村 洋一 63	ノブ子	下京塚原

善意の灯火 (10月分)

●香典返し (敬称略)

(寄付者)	(公民館)
富満 勝雄 (故 清志)	紫尾上
栗野 秀吉 (故 小緑ソエ)	栗野
西之園 照男 (故 スギエ)	高 嶺

休日在宅医

12月 7日	木原医院 (外科)	52-2700
	前畠クリニック (内婦) 樋脇町	38-2125
14日	医師会病院 (内外)	53-0326
21日	国吉内科 (内科)	53-1451
	鶴田中央病院 (内胃)	59-2000
23日	立志病院 (内科)	55-9119
28日	相良医院 (内児)	53-1177
	市比野記念病院 (内外脳) 樋脇町	52-2700

世帯数と人口

10月31日現在住民基本台帳

世帯数	1,830戸	(前月比 + 3戸)
人口	4,967人	(前月比 - 2人)
男	2,350人	(前月比 - 1人)
女	2,617人	(前月比 - 1人)



ふるさと いいとこ歩き

紫尾神社境内の方柱石塔婆

方柱とは四角な柱、塔婆とは墓標のことですが、紫尾神社境内に、方柱石塔婆と名づけられて、二基が建てられています。

左側の建武元年四月という

墨書された石柱には、上部四面にすばらしい薬研彫りで薬師如来(釈迦)を祀り、行意満果円満口と墨書しています。行意というのは、祁答院四代行重のことですが、行重は武蔵国佐原郡大井郷(品川付近)の地頭・大井次郎左衛門頼郷(妻は三代重松の姉)の子で、重松は行重を養子にし

ています。

満果円満とは、すべてのことが円満にということ、病氣平癒を願ったものと思われる。

石柱の正面以外の三面に十指方眼の線引きをして、梵字を墨書していますが、意味は分かりません。

右側の石柱には、建武元年七月とあり、行意頼證菩提とあり、一部の墨書から推測された経文として「真言不思議・観誦無明除 一字含千里、即心證法如」が墨書され、行意の極樂往生を示しています。

そして、阿弥陀如来の梵字(𑖀𑖃𑖫𑖅)をすばらしい薬研彫りにして、行重が、死後の成仏を祈願しているようです。

巡詣録という古文書に、行重が薬師堂と阿弥陀堂の二堂を建てたとあるので、この方柱石塔婆がその本尊だったのではと思われます。

夏まで、三基になっていたのを正式に二基に継ぎ直してあります。また、それを機会に屋根も改新してあります。仏教的なお詣りをしてあげると行重も喜ぶと思います。



方柱石塔婆

